

Pick Up!

自ら掃除してキレイが続くタンクレストイレ「SATIS X」登場

水まわり・タイルの国内事業が100周年を迎える株式会社LIXILは、自ら掃除してキレイが続くINAXタンクレストイレ「SATIS X」を、2024年6月3日より全国で発売します。

家事ストレスのひとつに挙がるトイレ掃除ですが、ユーザーが大変だと感じているのは便器の内側です。そこには、汚物などの見える汚れと、微生物やハウスダストなどの見えない汚れが存在しますが、SATIS Xはどちらの汚れもトイレが自ら落とし、キレイがつきます。

目に見える汚れは、3方向の水流で使うたびに便器鉢内の全面を強力に洗浄する「極みトリプル水流」による水の力でキレイが続きます。また、目に見えない汚れは、1日1回忘れずさばらず自動でお掃除をする「泡クリーン」による泡の力でキレイが持続します。

人と暮らしにゆとりを生むSATIS X。ぜひショールームでご覧ください。



株式会社LIXIL 九州支社
住所: 福岡市博多区半道橋2-15-10

九州・沖縄エリアの
ショールーム
<https://www.lixil.co.jp/showroom/kyushu/>



NEWS!

九州沖縄事務局からのお知らせ

期待してください! 変化しますよ!

昨年度からスタートした Renovation Times が多くの方から評価いただいていること、大変励みになっています。ライターの皆さま、そして読者の皆さまに心から感謝です! 広報と一緒に担当している山崎さんと共に汗をかいていますが、かなり大きな成長だと(勝手に)自負しています。さらに、こういった取り組みがフックとなり、6役メンバーが活性化したことでも大きな変化です。

今年度、九州沖縄エリアの協議会活動は大きく変化します。支部長を中心とした「新しいリノベのリーダーズ」がリードし、毎月、九州沖縄のどこかでリノ

ベーションビジネスセミナー(RBS)が開催されます。「入会が増えないし、決まった人しか参加しない」という悩みの原因を「私たちが、入会や参加したいと思えるセミナーや勉強会を提供できていなかったから」と分析。早速、リーダーズのメンバーが「協議会に入会したいし、もっと参加したいと思ってもらえるイベントを増やそう」とチャレンジをスタートしました!

現地に来れなくても、ほとんどのイベントはzoomで参加できますので、他支部のリノベーションビジネスセミナーに参加してみてください。周りにいらっしゃる未入会の方もぜひ誘って、一緒に参加していただけたらうれしいです!

九州沖縄部会 事務局 原文美

「新しいリノベのリーダーズ」からのお知らせ

いよいよ新体制でのRBSがスタートしました。まだまだ慣れな私たちですが、毎回「熱い想い」を持って準備しています! 5月から7月のラインナップを詳しくご紹介しますので、ご興味のあるイベントにぜひご来場ください。新規入会を検討中の方も、大歓迎です!



5月21日(火) 鹿児島支部

6月18日(火) 熊本支部

7月16日(火) 沖縄支部

地方ならではの「空き家」をビジネスに活かす!
相続登記の現場から見た
相続不動産の活用術
ゲスト:司法書士法人中央ライアロス
南九州担当執行役員 元佑也

都心部と比べて、人口減少が著しく進む地方では「相続登記の義務化」が大きな課題になるだけでなく、ビジネスチャンスとなる可能性も秘めています。本来は有料レベルの講演を、協議会メンバー限定で「無料」で聞けるチャンスです! ※本イベントのズーム配信はありません。ご興味のある方は、リアル参加をお願いします!

小規模事業者がリノベ
ビジネスで成長するノウハウ
創業9年で売上7億を実現した
リノベ会社を徹底分析
ゲスト:ひりの
代表取締役 山崎大亮

地域の特性を学び、
優良なリノベーション。
創業9年で売上7億を実現した
リノベ会社を徹底分析
ゲスト:ひりの
代表取締役 山崎大亮

業界未経験の状態で参入しながらも、福岡都市圏で年間50件以上の実需リノベーション工事を受注するまでに成長した株式会社ひりの。その理由を、マーケティングの視点を中心に解説。成長のベースとなる市場の分析方法や具体的な広告の取り組み事例を聞く。協議会ならではのイベントです!

▶九州沖縄部会WGは、毎月パナソニック福岡で開催しています。6役を中心開催していますが、どなたでも参加可能です。加盟社に共有したいことや相談したいことなどがあれば、お気軽に事務局の原までご連絡ください。

Renovation Times 一まるごと九州・沖縄 Vol.05 2024年5月号

発行 一般社団法人リノベーション協議会 九州沖縄エリア部会
(エリア内正会員67社 / 賛助会員23社 / 2024.4.4現在)

発行人 馬越重治(エス・コンセプト) 編集人 山崎大亮(ひりの)、原文美(ハラプロ)
制作 吉田千裕(ひりの) メール info@hara23.jp

発行日 2024年5月10日
Renovation Timesでは、リノベーション協議会に参加されている各社の取り組みを積極的にご紹介しています。
掲載をご希望の方は、お気軽に上記編集人までご連絡ください。【次回の発行は2024年8月です】

＼まるごと／
九州・沖縄

Renovation Times

VOL.
05
2024.05

R
かえる。くらし。すまい。
リノベーション協議会



フレッシュヤーズが語る リノベーションの魅力

入社動機から見えてくる 「暮らし」をつくる仕事の魅力

前谷 大学卒業後、8年間ほど看護や保健業務部門の公務員として働いていたんですが、お宅訪問などの際に「家での暮らし方」がとても大切だと感じていました。昔から建物を見るのが好きだったこともあり、転職を考えた時に「住む場所を作る仕事をしたい」と思って職探しをスタートしました。

そんな時、クラシカがリノベしたスポーツ用品店をたまたま見て、私から連絡したんです。面接後、コロナが発生して多忙だったこともあります。初面接から2年を経て転職を決意しました。前職を辞めた後、私は建築知識を身につけようと職業訓練校に通いながら、夜はクラシカでバイトし、ようやく半年前に入社できたところです。

江川 異業種からの転職に、不安はありませんでしたか?

前谷 もちろんありました。だけど、チャンスは今しかないと思って飛び込みました。いまは現場管理や設計のサポート、その他現場作業も含めていろんな仕事をやっています。めちゃくちゃ大変ですか? やりがいを感じます。

久浦 僕は住宅設備メーカーの営業と、不動産売買の仲介営業を経て転職したんですが、やはりのに入社したいと思ったきっかけは山崎社長との出会いなんです。2年ほど前、僕が売却を担当していた仲介の現場で、しかも売主さんがいる前で「この家は買わない方がいいですよ」と社長がお客さまに言うのを聞いて、不動産売買でもこんな正直な営業が許されるんだと衝撃を受けたんです。

メーカーに勤務していた時も、不動産会社の時も



株式会社タカノホーム ディレクター 江川優美(23)
学生時代に建築CADを学び、2021年4月に新卒でタカノホームに入社。リノベーションおよび不動産売買の営業、先輩ディレクターのアシスタントを担当。現在は主に不動産売買の営業や書類作成、補助金申請を担っている

「お客さまのためになる家づくりをしたい」と考えていたので、はびりのに入社したいと思いました。現在はリノベ部営業課で研修中です。部長のスバルタ指導で、日々ボコボコになってますけど毎日が楽しいです。

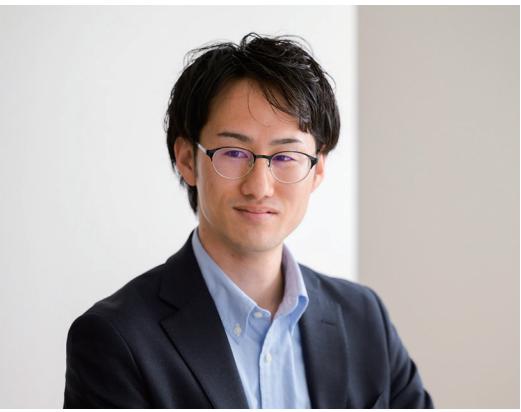
新卒でも中途入社でも 経験を活かすことが成長を加速する

江川 私はタカノホームに入社して、2年経ちました。不動産売買の仕事を中心に、補助金申請のサポートやリノベーションのアシスタントなどを行っています。私の提案や発言が、お客さまの判断に大きく影響を与えることがある仕事なので、本当に毎日必死です。

それでも、お客さまが喜ばれる姿を見ると、すご



株式会社クラシカ 前谷真希(32)
公務員からの転職を考えていた時にクラシカを知り、自分も働きたいと猛アピール。3年ほど想いを抱き続け、2023年11月に入社。現在はプランニングや現場管理、図面作成だけでなく、不動産業務として物件管理などを担当



株式会社はびりの プランナー 久浦達彦(30)

大学卒業後、ウッドワンに入社し、東北でキッチンや建材販売の営業に従事。その後、不動産会社に転職し、主に福岡市内で仲介営業を担当。2024年2月、はびりの入社。リノベーション事業部営業課にて研修中

く達成感があります。就職活動の時、他の会社さんは「会社の説明」がメインだったんですが、タカノホームの先輩は「住まいづくりの楽しさ」を話してくれたんです。入社できて、本当に良かったと思っています。

久浦 いまの悩みとか、身につけたいスキルってありますか？

江川 営業や建築の知識はもっと学びたいんですけど、一番は物件案内時にお客さまから「工事金額」を聞かれた際に、もっと自信を持って答えられるようになります。

前谷 私が身につけたいのは、お客様の悩みや不安を引き出すスキルです。実は、前職では面接などで相手の困りごとをしっかり聞き出せていたんですが、いまは知識不足で自分自身がいっぱいいっぱいになり、過去に学んだスキルを生かせてない気がします。

久浦 僕はメーカーにいた時、リノベ会社は取引量も少なく、さらに「無塗装で納品して。ただし、保証はつけてね」と言った難題を持ちかけられる相手が多いというイメージでした。それで、少し苦手意識もあったんですが、はびりのに入社してメーカーとの協業事例などを見ていく中で、お互いの得意分

野を活かし合う関係になっていかればと思うようになりました。

江川 不動産業界も、もっとお互いの理解が進んだらいいなって思う時があります。築古物件の売却相談時に、建物を解体する前提で「土地として売却」を勧める不動産会社さんも多いですが、もっとリノベーションのことを知ってくれたら選択肢が増ええると思います。解体されるお家を見て、売主さんが寂しそうな表情をされていたこともあったので。

リノベーションの未来へ それぞれと業界が伸びるために

前谷 今回の取材では、2社のモデルルームを見れると言うことでニヤニヤしながら大分から来ました。

しかし、マンションと戸建の現場を双方見れて、本当に「楽しい！」しかありません。リノベ協議会に入っているからこそ、こういう機会があるんだと感謝しています。もっと、他社さんの現場も見てみたいですね。

久浦 僕はまだ入社したばかりなので、いまは「頑張るぞ」という気持ちでいっぱいです。でも、いつか仕事に慣れて、スムーズにこなせるようになって

も、このフレッシュな気持ちを無くさないようにしたいと思っています。自分自身の楽しさと、お客様をワクワクさせる想いを両立して成長を続けたいです。

江川 私もいまはお客様の要望に応えるだけで精一杯なんですけど、早くお客様の想いを理解して、プロとしての提案ができるようになります。誰にでもできる仕事じゃなくて、タカノホームの江川にしかできない提案ができるようになります。

それと、いつか自分でマイホームを購入して、リノベーションしてみたいですね。

前谷 私もいつか家を買いたいとは思っているんですが、そういう経験や仕事を通じて「人が暮らせる場所づくり」に携わっていきたいんです。空間だけじゃなくて、過ごし方や働き方という点も含めて、私自身の暮らしをお客さまに還元できるようになります。

それが、転職してこの業界に入った私の強みだとと思っています。

久浦 今後もこういった横のつながりを通じて、意見や悩みを共有していきたいです。

江川 普段はどうしても自分の仕事中心なので、こういうきっかけがあると他社の方とお話しもできるし、勉強になりますね！



今回の対談は、福岡市南区にあるタカノホームのリノベーションを体感できるモデルハウス（現在は一般非公開）で開催された。築50年を超えた物件だったが、さまざまなアイデアが盛り込まれた明るい会場で3人の話を弾んだ。

先達に学ぶ

〈インタビュー〉
リノベーション協議会
九州沖縄部会 広報
山崎大亮（株式会社はびりの）

新年度がスタートする時期に併せて、若い世代を取材したいと考えました。現在の協議会活動は、なぜか社長クラスが中心です。そのため、なにごともスムーズに意思決定できているのはメリットですが、同時に「頭デッカチ」な組織となっていることも事実です。

今回、3人のインタビューに同席することで、なおさら協議会にも「新しい風」が必要だと感じました。若手、中堅、ベテランの「老壯青」が揃うことで、まずは多様な社会を実現する第一歩となります。若い人たちの感性が、ベテランに優っています。一方で、具体的な仕事に関する知識や経験はベテランに一日の長があるでしょう。

それでも、新しい風を呼び込むには「現在、力を持っている側」が、意識して道を開けることが重要です。4月からスタートした新しいRBSの両輪として、ぜひ若い世代の交流を企画したいと考えています。特に小規模な事業者では、横のつながりが希薄化しがちです。多様な事業者との連携が可能な協議会活動のメリットを、ぜひ全世代へと拡大ていきましょう。

Column

～写真には映らない美しさがあるから♪～ 性能向上リノベーションって、なに？

断熱性能と耐震性能を向上した優れた事例を選出する「性能向上リノベデザインアワード2023」（主催：YKK AP）が発表されました。今年の最優秀賞は、北海道の「株式会社アルティザン建築工房」さんでした。協議会メンバーと定期的に行っている他エリア視察ツアーで、過去（たぶん10年くらい前）にアルティザン建築工房さんの戸建リノベの現場を、新谷社長自らご案内いただき、ウラのウラまで拝見させていただきました。

圧倒的な断熱材と完璧な気密性が確保された戸建リノベに、異国の住宅を目の当たりにした感覚でしたが、生まれも育ちも暮らしも九州の私は、

まだ断熱リノベの重要性を理解しておらず、早過ぎた断熱リノベ視察体験でした。

いま思い返すと、その体験から弊社の断熱リノベの挑戦は始まりました。九州仕様にローカライズを続けた結果、なんと当社の現場が「省エネ集合住宅賞」に選出いただきました。リノベーション協議会のメンバーでよかった…と、心から感謝です。住宅性能の向上という領域は、見え方ではなく、在り方としての美しさが求められ、リノベーションの大切な要素の一つだと信じております。

写真には映らない美しさがあるから♪
リンダ♪ リンダ♪ リンダ♪
(by ブルーハーツ)

九州沖縄部会長
松山真介

TOPIC!

各エリアの取り組みとお知らせ

沖縄支部

日々の繋がりを大事にする

私たち Teach Plus は、沖縄県内にてリノベーション、建売住宅、不動産仲介業を営んでいます。お客様と共に「暮らしやすさ」にこだわった物件選び、住まいづくりを提案している会社です。

Teachとは沖縄の方言で「1」を表す言葉で、1つのものに価値を加える想いからスタートしました。「一つつながりを喜びに変える」を企業理念に掲げ、すべてのお客さまや関係している業者さま、職人さん、社員、そして家族と「出会えてよかったです」の感動を共有できる会社を目指しています。

不動産や建築業界は一般の方からすると少し入りにくいところもあるのでしょうかが、当社はかなりアットホームな雰囲気だと思っていて、引渡後のお客様とも現在まで仲良しだったりします！ そういった関係を作るための取り組みとして、お中元やお歳暮には「オリジナルルコヒー」を手渡しでお届けしています。毎年顔を合わせることで、最近の状況や出来ごとなど、さまざまなお話を聞きながら、コミュニケーションを取っています。

リノベーションや不動産は、やっぱり「つながり」が大事ですね！

鈴木良輔
(株式会社Teach Plus)

長崎からの便り

デザインのトータルコーディネートを目指して

当社は住宅の新築だけでなく、中古住宅やアパート、マンションのリノベーション、店舗のデザインや設計、施工など、多様な業務を行っています。

住宅やマンション、アパートの分野では「帰りたい空間・留まりたい空間」を意識し、お客様と一緒にモノづくりをしています。同様に、店舗でも「リピーター率の向上」を目指して、主観ではなく客観的なご提案を心がけています。お客様の気持ちを「良い形」で残すことが我々の仕事ですが、建物という「形」を作るだけでなく、店舗業態を把握した上で、オペレーションやサービス形態を含んだご提案をさせていただくことで、空間創りを担っていることが当社の特徴です。

また、新店舗を出店されるお客様に対しては、店舗設計や施工だけでなく、ロゴマークの作成、買い物袋やお土産に使用される化粧箱など、デザインのトータルコーディネートをご提案しています。限られた時間の中で「どこまでのサービス提供ができるか」、そして「お客様の笑顔を増やすことができるのか」を念頭に、いつも仕事に取り組んでいます。

岳下齊弘
(株式会社サクセス)

福岡支部

谷弥って「何屋？」

谷弥（タニヤ）グループは明治40年（1907年）設立で不動産売買、商業施設開発、TSUTAYAのFC運営、飲食事業などを担う株式会社谷弥を中核企業とし、石油販売、車検や車輌整備、保険事業などを行う谷弥石油、オートバックスFC運営のエンドレス、酒類販売の酒まつり、サーティワンアイスクリームFC運営のサウスノーの5社で構成されています。

また、2018年12月からは博多の櫛田神社参道にある築57年の古いビル1階で、沖縄のソウルフードであるボートま（ボーケたまごおにぎり）を販売する「ボートま櫛田表参道店」を運営しています。また、同ビルの2階と3階では、1日2組限定の宿泊施設「宿屋ひととき」を運営し、博多のタイムレスなひとときをご提供しています。

多角的に事業展開している谷弥ですが、昨年からは「からだ元気治療院」のFC運営も始めました。自宅や施設に訪問し、リハビリや機能訓練、鍼灸、マッサージを行う全国展開の治療院です。福岡県内で複数店舗を展開していますので、お近くの皆さんぜひお試しください。

中嶋潤一
(谷弥)

熊本支部

すべては広告効果のために

私たちはテレビやラジオのCMから、VIやCIの開発、WEBサイト制作、SNS広告まで、幅広く企画、制作している広告会社です。

毎日、人々が大量の情報を触れる中で、どのようにしてお客様の目的（売上アップ・認知拡大など）を達成できるのか。また、そのためにはどのような手段が必要なのかを考え、媒体選定やクリエイティブ制作を行っています。

プロジェクトやイベントに合わせて、基本プランの作成からデザイン制作、媒体手配まで実施させていただくことも多く、企画全体を通じての「一気通貫した訴求」が強みであり、好評を得ています。

ただし、あくまでも「広告」はひとつ手段や方法であり、お客様によっては別の点に注力した方がいい場合もあるとも考えています。そういう状況では、段階的に良くなる方法を考え、お客様と一緒に最適解を見つけていくことをご提案しています。

さまざまな仕事に関わることで得た知見やノウハウを活かすことで「広告効果」を最大化し、お客様が繁栄していくことが、私たちの願いです。

土田芳史
(平成広告宣伝事務所)